

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ながれぼし		2025年 4月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		静と動でスペースを分けるためにマットや机、いす等の配置を工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10		定められた通りの職員数を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		段差等がないように環境上の配慮を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		必ず掃除を行い、常に清潔な状態を保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		クールダウンの部屋を設けている為、必要に応じて使用できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1	職員会議は必ずPDCAサイクルをもとに進めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		機会を設け、業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		機会を設け、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		10	現在は外部評価を行えていない。	これから検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		法人内研修は実施しているが、外部研修は機会が少ない。	外部研修の機会を増やしていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		作成し、HP内にて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		職員で会議を行い利用者の最善の利益を考慮したうえで検討出来ている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		共有は必ず行い、事業所全体で支援の方針を統一している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		確認できている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		具体的な内容で設定出来ている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		活動プログラムは担当を分けていてチーム全体で行えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		偏らないようにクッキングやおでかけ、ＳＳＴや集団遊びなど様々なジャンルで組み立てをしている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		一人一人個別で作成し支援を行っている。 また集団活動にかんしてもグループを作り利用者の状況に合わせやすい工夫を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		前日に起きた出来事や利用者間の話をメインで行い当日の支援に活かせるよう心掛けている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		送迎などの業務もある為全員で同じ時間からのスタートは難しいが、事業所に戻った職員から順次行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		支援の記録は必ずとり支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的に行い見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		4つの基本活動を複数取り入れ支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		選択肢を設け、利用者主体となるよう支援者が促しをしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		担当を決めているので一番理解できている職員は必ず参画できるよう考慮している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		体制は整えているが今現在二ーズはない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		連絡調整など情報共有もしっかりと行えている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	情報共有はしているが数は多くない。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		10	今現在は対象の利用者がいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		10	現在はそのような機会がない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		地域の公園で毎日遊ぶ為、近隣の子どもたちと関わることが多い。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		10	現在はそのような機会がない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎の際や保護者様とお会いする際は必ず些細なことでも情報を共有し共通理解を持てるよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		10	コロナ前までは行っていたが、現在は機会を設けていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に時間を頂戴しゆっくり丁寧に伝えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		モニタリング時などにも毎回聞き取りを行い十分に機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		日頃から電話等は気軽にかけられるように保護者の方へ促しをしているのでよく相談の電話がある。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		10	機会を求める保護者がいる一方多くの方は求めている状況なので開催できていない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		事故や苦情などがあった際は必ずその日中に対応できるように努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		アプリを用いて発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		鍵付き書庫を用いて書類等の管理を徹底している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		視覚的に支援が必要な方には配慮をしたりエビデンスも用意し意思の疎通を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		10	現在は行えていない。	現在公園などで地域の子どもたちとのつながりがある為、その保護者とも繋がりが出てくるよう検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		周知、訓練は日々行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		策定、訓練、見直しを行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		医師の指示のもと対応の仕方などを全職員で共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		保護者様にも十分に話を聞いたうえで対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		訓練や見直しは常日頃から行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		訓練等を行う際など周知を徹底している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		対策や防止措置を職員間で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止の研修を行い、適切に対応している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		十分に説明したうえで計画に記載をしている。	